

楽聖四コマ劇場
運命
呼ばないで



© NAXOS JAPAN/IKI

NAXOS JAPAN
WEBにて
大好評連載中
http://naxos.jp/special/no_unmei

親子で一緒に **楽器を作ろう①**
～シェイカーいろいろ!?～
レッツ工作!

このコーナーでは、身近にある材料を使って簡単に作って楽しめる、手作り楽器をご紹介します。お子さんが音楽への興味を持つきっかけにもなりますので、ご家庭で、親子と一緒に作って遊んでみてください。楽器が完成したら、お友達同士で手作り楽器を持ち寄って、リズム・アンサンブルをしてみるのも楽しいですね!ぜひチャレンジしてみてください!

シェイカーいろいろ <著:今野道裕/イラスト:浅羽壮一郎>

作り方 ふた付きのペットボトルや缶に、ビーズ・米・切ったストローなどをいれる。
遊び方 振ると音が出る。入れる物や量を研究して、いろいろな音を出してみよう。



編集部のワンポイント・レッスン
シェイカーをリズムカルに演奏するコツは、歯切れよく振ること。野菜の水切り、麺の湯切り、塩バツパなどの動作をイメージすると、鋭い音を出しやすいです。上手に音を出せたら、いろいろな音楽に合わせてリズムを刻んでみましょう♪

おすすめ曲 おもちゃのチャチャチャ、あわてんぼうのサンタクロース など

近日発売!
Gakken 保育 Books
「3・4・5歳児の保育に作ってあそべる製作ずかん」
今野道裕 著 学研教育出版刊
■B5判/112頁/本体価格1,300円(税別)
この書籍の内容についてのお問い合わせ→TEL:03-6431-1595

Web版も
バックナンバーが
閲覧できる
Webならではの
情報が満載!

学研 おんがく通信 12月号
2013年11月25日

Gakken
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/> 学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

先日、ヴァイオリンのワークショップに参加しました。基本的な奏法をはじめ、現代音楽で用いられる特殊奏法や記譜法などについてレクチャーしていただきました…が、実は私、弦楽器がさっぱり弾けないのです…(ツッコミは無しで^^)。細かな動作や角度ひとつで変化する音色を間近で聴き、ただただ息を呑むばかり。ピアノとはまた違う繊細さや奥深さがありますね。ヴァイオリン、始めてみたいいな…。(の)

「ルドルフと一緒にクリスマス」

もうすぐクリスマス!みなさんの中にも、お子さんや生徒さんとのクリスマスパーティーを企画中という方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。クリスマス音楽について調査してみると、その歴史はやはりヨーロッパから。しかし、「子どもたちに親しみのあるクリスマス音楽」ということになると、忘れてはならないのがアメリカです。子どもたちの心をつかむエンターテインメントや音楽、映像作品を数多く生み出し、その独自の世界観で大人までも魅了する作品を世界中に送り出しています。そこで今回は、そんなアメリカで生まれた、みなさんにも馴染みのあるあの一曲、〈赤鼻のトナカイ〉に注目してみようと思います。

誰もが一度は歌ったことのある〈赤鼻のトナカイ〉。この曲はある物語をもとに作られた音楽でした。今から遡ること約70年。通販会社であるモンゴメリー・ワード社の経営幹部として働いていたウィリアム・サーロフは、1939年に同社でコピーライターをしているロバート・メイが作った『赤鼻のトナカイ、ルドルフ』(『Rudolph the Red-Nosed Reindeer』)という物語に出会いました。

「クリスマスタウンに生まれた、トナカイのルドルフ。しかしルドルフの鼻は他のトナカイと違い、ピカピカと光る赤い鼻でした。この赤い鼻のせいで、ルドルフは周りのトナカイから仲間はずれに。しかし、冒険家のユーコンやおもちゃ作りの妖精ハーミーに出会い、友情を育んでいきます。そして訪れたクリスマスイブはなんと嵐。サンタはクリスマスを中止しようとしたが、ルドルフのピカピカと光る赤い鼻で夜道を照らすことを思いつきます。ひときわ輝くルドルフの鼻のおかげで、サンタは無事にプレゼントを配ることができたのです。」

この主人公ルドルフをすぐに気に入ったサーロフは、1939年から1946年のクリスマスシーズンに配布していた無料カタログのキャラクターに、ルドルフを起用します。その頃、ジョニー・マークスによって『赤鼻のトナカイ、ルドルフ』の物語を元に楽曲が制作されました。これが私たちのよく知る〈赤鼻のトナカイ〉です。

1964年、サーロフが新しく勤務していたゼネラル・エレクトリック (GE) とアメリカの3大ネットワークの一つであるテレビ局、NBCのために特別番組『ルドルフ』(パペット・アニメ)が制作され、ルドルフはアメリカ全土、そして世界に一気に知れ渡ります。ジョニー・マークスによって作曲された〈赤鼻のトナカイ〉はこの番組内でも使用されました。1964年に初めてこの作品が放送されて以来、アメリカでは毎年放送され続け、やがて世界中の人々に愛されるようになります。こうして〈赤鼻のトナカイ〉はクリスマス音楽の定番曲として定着したのです。

そんな『ルドルフ』で使用される楽曲は、〈赤鼻のトナカイ〉に限らずすべての曲がクリスマス一色。それらすべての楽曲のオーケストラアレンジと総指揮を務めたのはモーリー・ローズという作曲家です。その音色はまさに、心躍るクリスマス。もちろん日本でもDVDが発売されています。アニメに使われているパペットは、日本人の手によって作られたそうです。そんな日本のクリエイターたちも尽力し、制作された『ルドルフ』。クリスマス会のお楽しみDVDやBGMとしておすすめの作品です!!(め)

ルドルフ 赤鼻のトナカイ [絵本付きDVD]
東北新社 2009年発売

参考文献: Picture Friends 005「ルドルフ～赤鼻のトナカイ～」(フチクラパブリッシング)
参考Webサイト: GEホームページ「世界からお届けするGE」
http://www.ge.com/jp/news/reports/going_down_in_history_dec27_12.html

「名曲のたのしみ、吉田秀和」 CD付き書籍
吉田秀和/西川彰一(編)全5巻

第5巻 モーツァルト～作曲家たち
2013年11月28日発売 ■A5判/356頁/定価3,200円(税別)/CD1枚付※
※解説部分のみで、音楽は含まれません。

新発売

～内容～
●第1章 モーツァルトの精髄
●第2章 ドイツ・バロックからロマン派
●第3章 フランス近代の作曲家
●第4章 後期ロマン派の時代
●第5章 ハルトクとストラヴィンスキー、新ウィーン楽派
●第6章 プリテンと英米の作曲家
●第7章 東欧・ソ連の作曲家

名曲のたのしみ、吉田秀和
吉田秀和 著
40周年記念「よき友」プロジェクト
「名曲のたのしみ」が聴ける
CD1枚付

編集部のつぶやいたー!

ニュートンの偉大さを肌と贅肉で感じるお年ごろ。(@か)

Tsubuyaitter..... follow me!

twitter やってます! @gakken_music 日々のおしなほことや最新情報をツイートしています!

ぴあのどリーむ情報

『ぴあのどリーむ』シリーズは、幼児版を含む「テキスト」「ワークブック」、そして「レパートリー」、さらに、3月に新たに加わった「中級導入」シリーズを「メインシリーズ」として位置付けています。もちろん、「メイン」があるからには「サブ」があり、それが「小学生のためのピアノ小曲集」(全2巻)と「がくてんドリル」(全5巻)です。「小学生のためのピアノ小曲集」は、シリーズの中では前回ご紹介した「レパートリー」と同じように、「副読本」のような役割を果たしているのですが、「レパートリー」が「テキスト」のカリキュラムに準拠しているのに比べ、こちらはもっとレベルを幅広くとらえて選曲や分冊がなされています。ですからお気に入りの曲が弾きたいとき、ちょっと復習が必要とき、発表会の選曲…などにおすすめです♪(か)

20th Anniversary

名曲誕生物語

音楽作家 ひのまどか



(漫画: 樹木洋二)

《トルコ行進曲》 モーツァルト作曲

30年前、向田邦子さん脚本のテレビ・ドラマ「阿修羅の如く」が大評判になりました。ドラマは、平凡な生活を営む四姉妹の心に潜む阿修羅（戦いの鬼神）を抉り出した強烈なお話でしたが、それ以上に強烈だったのがテーマ音楽です。一度聴いたら忘れられない“おどろおどろしい”音楽。実はそれは、15～17世紀にヨーロッパを恐怖に陥れたオスマン・トルコ軍の行進曲だったのです！

トルコと言えば、私の脳裏には世界的な民族音楽学者、小泉文夫氏の言葉が刻み込まれています。「トルコ人っていうのはね、特別優れた文化的センスを持っていて、ヨーロッパに攻め入る時も武力だけではなく、音楽を上手に使ったんですよ。その代表的な例が軍楽隊です」。要約すると、トルコの軍楽隊はド派手な衣装と大音響の鳴り物で敵の度肝を抜き、その勢いで敵軍を味方に引き入れ、太鼓やラッパの合図で言葉の通じない外国勢をまとめた、とのことでした。

ところで、1756年生まれのモーツァルトは、オーストリア対トルコ戦を知らない世代です。彼がウィーンに定住したのはそれから100年も後のことで、その頃には陽気なウィーンっ子はトルコ軍の置きみやげのコーヒーや、トルコの軍楽隊のけたたましい音楽に夢中になっていました。当然モーツァルトも、その前後のハイドンやベートーヴェンも、教会や宮廷の音楽とは全く異質のエキゾチックで勇猛なトルコ音楽に魅せられました。そして競い合うようにピアノ曲、ヴァイオリン曲、オペラ、交響曲にトルコ風のリズムやメロディーを取り入れたのです。皆さんもご興味があれば、モーツァルトの《トルコ行進曲》とYouTubeにもアップされているトルコの軍楽を聴き比べてみてください。面白いですよ。

トルコ軍がヨーロッパに持ち込んだ楽器はその後今のオーケストラの楽器に生まれ変わり、軍楽隊は現代のプラスバンドに発展しました。トルコの軍楽隊はヨーロッパ文化に、それ程大きな影響を与えていたのです。

オーストリア対トルコ戦とは？

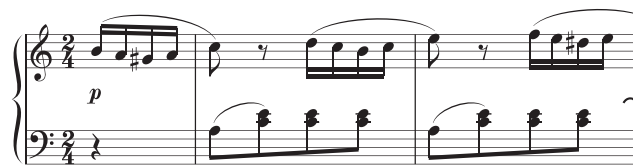
オスマン・トルコ帝国は、13世紀末から次々と勢力を拡大し、16世紀にはアジア、アフリカにまたがる大帝国内に発展した国です。その後、さらに勢力を拡大しようと、ヨーロッパに攻め入り、二度にわたってウィーンを包囲しました。1683年には20万を超える大軍で攻めてきたそうです。陥落寸前まで追い込まれましたが、応援に駆け付けたポーランドなどの連合軍によって辛うじて救われました。モーツァルトがウィーンに住み始めたのはそれから100年後のことです。



アフリカ

トルコ・ブームから生まれた作品

- トルコ行進曲 ～ピアノ・ソナタ 第11番 第3楽章
モーツァルト作曲



トルコ軍楽の躍動感に満ちたこの曲は、ピアノ学習者の憧れの名曲として有名ですね。楽譜には「Alla Turca（トルコ風に）」と記され、モーツァルトがトルコ音楽を意識的に取り入れていたことがうかがえます。作曲年に関する資料が少なく、1781年説、1783年説があります。

- 《後宮からの逃走》 モーツァルト作曲

トルコの宮殿にさらわれた恋人を助け出す若者のおはなしのジンゲシュピール（歌芝居）です。1782年に初演され、トルコ・ブームで盛り上がるウィーンの人々のあいだで大ヒットしました。

- 交響曲 第100番《軍隊》 ハイドン作曲

1793年から翌年にかけてロンドンで作曲されました。第2、4楽章でトルコの軍楽隊の打楽器を使用しています。

- トルコ行進曲 ～《アテネの廃墟》より
ベートーヴェン作曲



モーツァルトの同名作品と並んで人気のこの曲は、1812年にドイツ劇場のこけら落としで初演された付随音楽《アテネの廃墟》の第5曲にあたります。トルコ軍楽風のリズムが特徴です。

名曲誕生のおはなしがまんがで読める！

- 学研 音楽まんがシリーズ
世界のピアノ名曲10 - 名曲誕生物語 -
監修：ひのまどか

■菊判/176頁/1C/CD付き
本体価格 1,600円（税別）

好評発売中！！



12月 J.S.バッハの クリスマス・オラトリオ



ほくの曲
聴いてね！
メリー
クリスマス！！

12月ですね。12月といえばクリスマスです。日暮れた街中ではあちこちでクリスマス用のイルミネーションが目につくようになります。歳末のせわしない気分を美しい色とりどりの電飾の灯りが夢みがちに誘ってくれる季節です。

現代ではクリスマスはキリスト教という宗教の枠をこえて多くの国で年中行事となっていますが、本来はキリスト教における大切な宗教上の行事です。その本来の宗教上の役割をになったクリスマス用の西洋音楽は枚挙にいとまないほどありますが、その代表的なものといえば、やはりJ.S.バッハの「クリスマス・オラトリオ」をあげなくてはならないでしょう。バッハの4大宗教音楽のひとつに数えられている大曲です。

曲は全体で6部からできています。その各部とも独唱・合唱・管弦楽による10曲ほどで構成され、6部全体でキリストの生誕をめぐる一貫した流れをつくっています。演奏時間の合計は2時間半をこえるでしょうか。ただし、1部から6部までを1日で上演するために作曲されたわけではありません。クリスマスという行事は12月25日から翌年の1月6日までの期間のことであり、「クリスマス・オラトリオ」では12月25日に演奏される第1部から1月6日に演奏されるための第6部まで、演奏される日が決まっています。クリスマス第1日(25日)に第1部、以下26日=第2部、27日=第3部、1月1日(イエス命名の祝日)=第4部、2日~5日の日曜日=第5部、6日=第6部です。

では、クリスマスは12月25日に突如として始まるのかというと、当然そんなことはないのです。日本でも最近はずいぶん早くクリスマス気分が商店街などにあふれるようになりましたが、12月25日にさきだつ4週間を待降節(ドイツ語でアドヴェント)といい、クリスマスを迎えるさまざまな準備にいそむ期間なのです。モミの木の輪をアドヴェント・克蘭ツ(待降節の冠)といいますが、最近では日本の家庭でも飾られているのをたまに見かけます。この待降節は心身をきよらかにし、心しずかに過ごす期間といえます。そして聖夜(クリスマス・イブ)を迎え、待望のクリスマス(降誕節)となります。アドヴェント(待降節)の清浄で落ちついた4週間の日々があつてこそ、「クリスマス・オラトリオ」第1部第1曲冒頭のトランペットとティンパニの華やかな響きとつづく喜びに満ち溢れた合唱が、心の隅々にまでしみいるようにかんじられるのだと思います。(え)

今月のあかね先生

あかね先生の新しいセミナー「ピアノ・テクニックのレッスン法」が始まりました！担当者(いも)も伺ったのですが、それはそれは楽しく充実した2時間でした。これまで開催してきた譜読みのためのセミナーでは身体を使ったり、ゲームが登場したりと、にぎやかなものでしたが、それとは打って変わって、今回はずっとピアノに向かっての指導内容です。「ピアノを始めたばかりの子どもはずっと座っていてはつまらない。それにテクニックは、子どもたちが初めてやることばかりだし、細かいニュアンスを指導するから、禁止事項ばかり。それで子どもたちも先生もいやになっちゃうのよね。」とのあかね先生の言葉に、一同、大きく首を縦に・・・うん。あかね先生もだいぶ苦労されているのだそうです。そこで、決して無理強いするのではなく、子どもたちに寄り添うように培われた指導法が生まれたというわけです。具体的な指導法はセミナーに足を運んでいただいたときにお聞きいただくとして…。次号では、その概略をご紹介しますと思います。(いも)



Happy Birthday 12月 生まれの音楽家

- ♪ジャン・シベリウス
(フィンランド/作曲家/1865.12.8生)
●祖国フィンランドをたたえて作曲した交響詩《フィンランディア》が有名。
- ♪ドミトリー・カバレフスキー
(ロシア/作曲家、ピアニスト/1904.12.30生)
●子どものための作品も数多く作曲。



WEBで詳しく紹介しています！

つむりの練習手帳

つむりは最近学校の“うんてい”にハマってるんだけど、この間おっこっちゃって左手の骨にひびが入ったかもしれないんだって。それで「手が痛いからピアノは練習できない」ってサボろうとしたけど、お医者さまに「左手のお指を少し動かしたほうがいいですよ」って言われたのと、先生に「右手だけでもレッスンに来てね」って言われちゃって、しぶしぶ練習してます。(トホホお兄)

- つむり現在の楽譜
- ☆こどものハノン ④
- ☆こどものバイエル ⑩
- ☆ブレ・インヴェンション
- ☆びあのだりーむ
- ブルクミュラー 25の練習曲



最終回…… 膝を労わろう

これまでやってきた、肩こり・腰痛改善のためのエクササイズ。最後にもうひとつ、意識してほしい場所があります。頭があって胸があり、脊椎、骨盤……そして膝。互いに影響しあう身体全体の設計図の一部である膝について意識することで、あなたの身体は調和を保っていただけるのです。それでは膝をどういう状態にすればいいのでしょうか？よく皆さんがしてしまうのは、膝を後ろの方向にギュッと固めてしまうことです。膝は自然な状態にあるとき、緩やかに曲がっているものです。肘も同様に、緩やかに曲がっています、これこそが身体のデザインなのです。ですから、膝を固めてしまっているときに、意識して「膝を曲げよう」とすることは、自然な動きではありません。そうではなく、「膝を後ろに向かって押さない、固めないで、膝に干渉せず、あるがままにさせておこう」と考えてください。このように、身体の作りを理解し、意識の持っていき方に気をつけることで、きっとあなたは凝りや痛みから解放されることでしょう。そしてそれは、楽器を演奏する姿勢にも関係してくるのです。興味があったら、アレクサンダー・テクニクについてのブログをご覧ください。どうもありがとうございました。
アレクサンダー・テクニク教師/バジル・クリツァー

ブログはこちらから↓
<http://basilkritzer.jp>